



視能訓練士について

視能訓練士という国家資格があります。主に眼科クリニックや総合病院などで、視力検査はもちろん各種眼科検査を行う医療専門職です。斜視弱視といった子供の視機能発達の訓練も大事な仕事になります。専門学校や大学で3-4年間勉強し、国家試験に合格することで取得できます。

検査をすることに関しては、医師よりもスペシャリティが高く、各種検査が増えている現代の眼科診療にはなくてはならない存在となっております。

当クリニックでも**視能訓練士の資格を持ったスタッフ**が検査を手伝っており、医療水準を保つために貢献してくれています。

視能訓練士の4つの仕事

眼科
一般検査

視能
訓練

検診業務

ロービ
ジョン
ケア

小さい字が見えにくい

日本眼科医会が40代以上の方にwebでアンケートを実施したところ、最も多い悩みは「**小さな字が見えにくい**」(51.3%)でした。続いて**目が疲れる**(42.8%)、**視力低下**(40.7%)でした。どれかに当てはまる方が多そうですね。悪い病気でなければよいですが、症状が悪くなる前に一度、ご相談ください。

(日本の眼科(2021)9号「アイフレイル」から)

当院での眼底検診

国保の眼底検診をたくさんの方に受けていただいております。当院では、目薬をして20-30分お待ちいただき、**散瞳**させて

(検査後4-5時間まぶしくなる)、白内障・緑内障の評価、眼底検査を行っております。眼底カメラのみと異なり、より詳しく検査ができます。実際に**医師の診察・説明**を行い、**相談**にもなっています。時間があれば、その検査を推奨しますが、時間のない方は眼底カメラのみでの検査も大丈夫です。**時間短縮希望の方は、受付に申し出てください。**